



The 79th Suzuki Shinichi Memorial Hall Concert

— 第79回鈴木鎮一記念館コンサート ラミー弦楽四重奏団コンサート—

LAMY STRING QUARTET Concert

2015.10.11 Sun.

14:00 start 入場無料

Program

ショスタコーヴィッチ；弦楽四重奏曲 第6番 ト長調 作品101

シューベルト；弦楽四重奏曲 二短調 D.810「死と乙女」

ラミー 弦楽四重奏団

田中信介 (Vn) 田中敬子 (Vn) 篠崎友美 (Vla) 壁瀬宥雅 (Vc)

ラミー弦楽四重奏団

ラミー弦楽四重奏団は、1972年、才能教育研究会の弦楽合奏団コンチェルティノー・ディ・キョートのメンバーで結成された。

メンバーは、第1ヴァイオリン田中信介、第2ヴァイオリン田中敬子、ヴィオラ江村孝哉、チェロ壁瀬宥雅の4名であった。1973年から8年間は、活発に活動し、ヴィオラのプリムローズ氏の指導を受け、チェロの林峰男氏等との共演を含めハイドン、モーツァルト、ベートーベン、シューベルト、ブラームス、ドヴォルザーク、ラヴェル、ドビュッシー、ショスタコーヴィッチをレパートリーに活動した。

1993年には、カザルスホールで演奏したショスタコーヴィッチの4番のカルテットの演奏をNHK FM「第11回クラシック音楽最前線〜弦楽四重奏からの風紋」なる番組で世界の名立たる弦楽四重奏団ブダペストSQ、ジュリアードSQ、東京Q、アルバンベルクSQなどと共に取り上げられ放送された。

同年には青山バロックザールにて創立20周年記念コンサートを開催。

2003年には創立30周年として、4月には府中ウィーンホールにて東京公演、8月には京都府民ホールアルティにて記念公演を行った。

ラミー弦楽四重奏団メンバー プロフィール

田中信介 (1st Violin)

京都市生まれ。京都大学工学部大学院修了。現在KDDI(株)に勤務。工学博士。3歳よりヴァイオリンを始める。9歳より才能教育京都支部新井覚氏の指導を受け、同支部の弦楽合奏団コンチェルティノー・ディ・キョートにおいてコンサートマスターを務めた。また、同楽団のメンバーによりラミー弦楽四重奏団を結成し、30年以上にわたって演奏活動を続けている。故田中千香士氏、原田幸一郎氏、中村静香氏にも師事する他、皇太子殿下主催の梓室内管弦楽団にも参加している。

田中敬子 (2nd Violine)

京都市生まれ。同志社女子大学卒業。3歳より才能教育京都支部、園原珠美氏、新井覚氏に師事。同支部の弦楽合奏団コンチェルティノー・ディ・キョートでフィリックス・アーヨ、ルイ・モイズ、モーリス・ジャンドロらと共に共演するとともに、同合奏団のメンバーで結成されたラミー弦楽四重奏団で室内楽の活動も行っている。皇太子殿下の主催される梓管弦楽団にも参加。

篠崎友美 (Viola)

京都出身。3歳より才能教育研究会京都支部においてヴァイオリンをはじめ。桐朋女子高校音楽科を経て1995年桐朋学園大学を首席で卒業。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門において齋藤秀雄賞を受賞。1994年ライオネル・ターティス国際ヴィオラ・コンクール特別賞受賞。1997年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞。ソリスト、室内楽奏者として幅広く活躍しており、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭、北九州国際音楽祭など数多くのフェスティバルに出演している。紀尾井シンフォニエッタ東京、サイトウ・キネン・オーケストラ、ラ・ストラヴァガンツァ東京、東京春祭チェンバー・オーケストラ、チェンバーオーケストラ相模原、アクロス弦楽合奏団、アンサンブル∞-無限-などのメンバーとしても活躍。

2002年より新日本フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者。

壁瀬宥雅 (Cello)

京都市出身。5歳よりヴァイオリンを才能教育研究会、新井覚氏に師事。15歳でチェロに転向、故野村武二、林峰男両氏に師事。学生時代からラミー弦楽四重奏団を主宰、現在に至る。

室内楽活動としてヴァイオリンの林靖子氏らとリングピアノトリオに参加。

1996年に一音寺室内合奏団を組織し、京都コンサートホール(大ホール)にて毎年一度定期公演を行う。近年は、サイトウキネンオーケストラの主要メンバーも多く参加されるまでに発展している。